

市川市議会は毎年2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月に各定例会号を発行（新聞折り込み）し、審議内容をお知らせしています。



いちかわ

市議会だより

2023年(令和5年)第256号

1月1日(祝)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡 1-1-1 ☎ 334-1111
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/154100002.html>



令和5年 癸卯



アイ・リンクタウン展望施設から臨む朝日

◆ 新年のごあいさつ ◆

市議会議長 松永 修巳

年頭所感

謹んで新春を仰ぎ、近況所感を申し上げます。9万8千人—この数字は、市内でコロナに感染したことが確認された方の総数です。10万人にせまる勢いです。市川市の人口と比較すると20%に当たる数値となります。未だ感染が収束する見通しがたない状況です。私達一人一人が自己責任において、感染防止対策の徹底を図っていく以外に対処法はないのではないかと思います。そのような環境下の中、市政の歩みを止めることなく、昨年は田中市長の船出を見届けました。

市長は早々と7本の基本政策を提示され、これらは従来の型を破り斬新な提案であり、市政に一筋の光明をもたらす羅針盤とも言えます。

一例として、学校給食の無償化には、17・7億円の費用がかかりますが、市長が唱える健康寿命日本一にも直結する政策として、議会も全面的に賛同しましたが、財源の捻出は今後の市長の手腕にかかっています。

その他、クリーンセンターの建替や斎場の再整備など、今手をつけなければならない事業により、厳しい財政運営に直面しております。

これらの課題について、市議会として議論を通して市の将来に向け不可欠な事業ですので、市と連携して対処してまいります。

さて、本年は、4年に1度の統一地方選挙が行われる年でもありますので、4月23日に行われる予定の市議会議員の選挙では、市民の代表にふさわしい42名の議員を選んでいただきたいと思っております。

「朗報」祝「消防第6分団が準V」

地域で活動されている方々の朗報をお伝えします。

10月29日県の消防学校で開かれた全国消防操法大会で県代表として出場した市川の第6分団(八幡・南八幡地区)が全国の代表と競った結果、見事準優勝に輝く成果を収めました。

これは、県勢として22年ぶり、本市の消防にとっては、初の快挙であります。心から拍手を送り、称えます。おめでとうございます。

結びに市民の皆様にとって、今年一年、健康で活躍されますよう祈願して年頭のご挨拶といたします。

市議会副議長 大場 諭

新年おめでとございます。輝かしい新春を市民の皆様とともに迎えることができ、大変うれしく存じます。また、日頃より本市議会の運営及び活動に対しご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年の干支は「卯」です。「卯」という字は草木が茂り、地面を蔽うようになった状態を表しており、春の訪れを感じるという意味があるようです。また、うさぎは勢いよく飛び跳ねる動物であり、多産で成長も早いので、繁栄の象徴でもあります。こうした意味から、卯年は勢いよく飛び出る年、飛躍する年とも言われております。昨年は降雹の影響により、市川市の特産物である梨などの農作物が甚大な被害を受けました。報道によると被害額は約13億円とも言われております。こうした大きな困難を乗り越え、農業をはじめとする社会経済活動が勢いよく飛躍する年となることを期待しております。

結に、本年が皆様にとっても飛躍の年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。